

令和 3 年第 1 回鹿角市議会定例会 代表質問

□質問順位及び質問所要時間

2 月 1 0 日（水）午前 1 0 時～

- | | | | | |
|---|---------|------|--------|----------|
| 1 | 田 村 富 男 | 議員 | 鹿真会・公明 | （ 6 0 分） |
| 2 | 倉 岡 | 誠 議員 | 誠心会 | （ 6 0 分） |
| 3 | 舘 花 一 仁 | 議員 | 清風会 | （ 6 0 分） |
| 4 | 吉 村 ア イ | 議員 | 立憲民主党 | （ 6 0 分） |

□質問時間割当表

10:00		11:00	11:10	12:10	13:00	14:00	14:10	15:10
2 月 1 0 日 （水）	田村富男 （60 分）	休憩 10 分間	倉岡 誠 （60 分）	休 憩	舘花一仁 （60 分）	休憩 10 分間	吉村アイ （60 分）	

令和 3 年第 1 回 鹿角市議会定例会代表質問

No.1

順位	1	会派・政党名	鹿真会・公明	代表質問者	田村 富男	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨			
1 児玉市政 4 期 16 年の総括について (1) 経済的豊かさについて				<p>① 市民の所得向上や経済循環の円滑化、産業構造の改革につながるような中長期的な施策を行ってきたが、経済成長率は伸びたのか。</p> <p>② 経済成長が顕著であったという実感はないが、その理由は何か。</p> <p>③ 市民所得について (ア) 一人当たりの市民所得の推移について、額と伸び率を伺う。併せて、伸びた理由について、また伸びなかった場合はその理由について伺う。 (イ) 一人当たりの市民所得は、県内都市の中では低位であったと思うが現在はどうか。また、県平均額との格差は縮小したか。 (ウ) 一人当たりの市民所得は、将来県平均額を上回る可能性はあるのか。</p>			
(2) 鹿角市で暮らすことについて				<p>① 福祉医療、住環境、インフラ、教育などの市民福祉の向上を図ってきた結果、市民の満足度はどのように変化したか。また、これからも鹿角市で暮らし続けたいと思う市民の割合について伺う。</p> <p>② 本市の魅力や地域性のほか、これまでの移住支援策等により「鹿角市で暮らしたい」と思う方が移住して来られていると思うが、移住者は増えているのか。</p> <p>③ コロナ禍により首都圏から地方への移住が再び注目されてきている。この機会にこれまで以上に市への移住 P R を強化して移住者の獲得に努めてほしいがいかがか。</p> <p>④ 市外の子育て家庭に対し、「鹿角市では素晴らしい自然及び保育環境の中でのびのびと子育てができる」ことをホームページで視覚的に手短かにアピールすることも一案と思うがどうか。</p>			

令和 3 年第 1 回 鹿角市議会定例会代表質問

No.2

順位	1	会派・政党名	鹿真会・公明	代表質問者	田村 富男	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨				
(3) 市の存続について			<p>⑤ 保育園から高校卒業まで、あるいは中学校卒業までの期間の親子での移住なども、様々な波及効果があると思うが、子育て期間だけの移住者についても手厚く支援をし、積極的にPRをして移住者の増加を図ってはいかがか。</p> <p>① 市は人口減少の抑制を市政の最重要課題として取り組んできたが、これまで実施してきた総合計画の施策は人口減少にどのような抑制効果を及ぼしてきたか伺う。</p> <p>② 合計特殊出生率を人口置換水準まで高めることは相当困難であると思うが、どのように考えているか伺う。</p> <p>③ 基本構想では「人口構造の若返り」が必要だとしているが、実現すると先行きは明るいものとなる。若返りの兆しがどのように変化することを期待しているのか伺う。</p> <p>④ 人口が1万人台まで減少すると、インフラや公共施設、行政機関、学校、自治会等の地域コミュニティなどは統合や廃止を検討しなければならないと思うが、現段階で市が想定していること、または検討していることがあるのか伺う。</p> <p>⑤ 市の人口減少はいつまで続くと考えているか。また、いつごろから増加に転じると想定しているのか伺う。</p> <p>⑥ 人口が減少することにより財政規模も縮小すると思うが、市民への行政サービスに影響することが心配される。人口が減少しても市民への行政サービスは提供されるものか伺う。</p> <p>⑦ 人口減少により市の財政が厳しくなった場合、市が提供できなくなる行政サービスはあるのか。ある場合、そのサービスは未来永劫にわたり享受できなくなるのか。または県や国が代替することがあるものか伺う。</p>				

令和 3 年第 1 回 鹿角市議会定例会代表質問

No.3

順位	1	会派・政党名	鹿真会・公明	代表質問者	田村 富男	質問所要時間	60 分
質 問 事 項				質 問 要 旨			
2 第 7 次総合計画について (1) 総合計画について				<p>⑧ 平成の大合併については、行政事務の効率化と経費の節減は達成されたが、吸収された旧市町村の住民の充実度や幸福感等は残念ながら薄れており、できればそのような思いはしたくない。このままではいつか市町村の再編を検討しなければならない環境に追い込まれるのではないかと心配になるが、この点について、市長の考えを伺う。</p> <p>① 総合計画は全市町村が策定しているのか。もしそうでなければ、市が総合計画を策定する理由を伺う。また、旧来から計画期間は 10 年だが、これは規定されていることなのか。</p> <p>② 総合計画をもっと市民に知ってもらい、目指す将来像の実現に向けた意識の共有を強めることが、市行政がさらに厳しい状況に向かう中ではますます重要だと思うが、考えを伺う。</p> <p>③ 市民への周知は、これまでのダイジェスト版ではなく、簡潔で必要なことだけを中高生から高齢者まで理解できるような表現で作るほうが、より多くの市民の理解につながると思うがいかがか。</p>			
(2) 中心市街地等に住宅を誘導することについて				<p>① 今後とも人口減少は続き、中山間地域等においても空き家が増え続け、いずれ自治会が機能できなくなるときが来る。中心市街地等への住宅移転は、生活の安心・安全を確保し、行政運営の効率化を図るため有効であり、人口が減少しても中心市街地等を維持する上でプラスにつながる事業でもあり、推進すべきと思うが、市長の考えを伺う。</p> <p>② 以前は、集落からの移転を促進することは自治会活動の推進や存続に反するとの意見もあったと思うが、これについてどのように考えるか。</p> <p>③ 中山間地域等において住宅の建て替えや大規模なリフォームを行おうとする市民に対し、中心市街地等へ移転することを条件に、市が建設費の助成や市有地の譲渡や貸し付けを行う等、移転ケースに応じた支援の事業化について考えを伺う。なお、併せて、この事業化については市民が住宅を建て替える際に随時支援する事業であり、ある程度の成果が見えるまでは長い年月を要することから、できるだけ早く事業化することが望ましいと思うが、この点についても伺う。</p>			

令和 3 年第 1 回 鹿角市議会定例会代表質問

No.4

順位	1	会派・政党名	鹿真会・公明	代表質問者	田村 富男	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨				
(3) 認知症保険について			① 認知症は誰にとっても他人事ではない身近な問題である。徘徊者が、家族が負担しきれないほど多額な損害賠償の事故を起こす事例が増えてきている。今後さらに認知症患者数が増加することを踏まえると、市が保険制度に加入して万が一に備えてくれば、今後救われる市民は少なくないと思うが、市が保険に加入することについて考えを伺う。				
(4) 米の振興について			① 米の需要は減少し続けており、米農家の経営は厳しい状況にある。食生活の多様化は時代の趨勢だとしても、そうであれば国外に販路を開拓することも考えられるのではないかと思うが、鹿角の米を輸出することについて、市としての見通しを伺う。 ② 水田の多面的な機能は市民を守り癒してきた。水田を農家のためだけでなく、市民全体の財産として守ってほしいとの思いがある。水田の多面的機能を守り続けることは可能か。また、米の需要と供給が逆転するときが来ると言われているが、市長は肯定されるか伺う。				
(5) セーフティネットについて			① コロナ禍で経営状況が悪化した企業は多く、職を失い生活に困窮している国民は増加している。コロナ禍より以前から生活困窮に対する支援策がいろいろ立ち上げられてきているが、生活困窮者に対する支援策から生活保護に至るまでのセーフティネットの仕組みについて段階的に伺う。 ② 生活保護は、利用しやすい環境が必要だと思うが、制度の目的に沿わない利用をしようとする場合もある。制度の円滑な運営をどのように確保しているのか伺う。また、併せて、生活保護に関する審査について首長の裁量はあるものか伺う。				

令和 3 年第 1 回 鹿角市議会定例会代表質問

No.1

順位	2	会派・政党名	誠心会	代表質問者	倉岡 誠	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨				
1	第 7 次総合計画の初年度として新規、あるいは拡充して取り組む特徴的事務事業の内容について		① 「ふるさとを誇り 未来を拓くまち 鹿角」の将来都市像を掲げ、第 7 次総合計画の初年度を迎えるが、本計画の達成に向けて初年度に新規、あるいは拡充して取り組む事業、いわゆる目玉事業と考えているものは何か伺う。				
2	自治会活動の支援強化について		① 各集落自治会は、地方自治基礎単位として大変重要な役割を果たしているが、年々少子高齢化、構成世帯の減少により、人材面、財政面で活動を維持していくのが大変厳しい状況にある。市でも、自治会元気づくり応援補助金や自治会コミュニティ再生応援事業費補助金等により個別的支援は行っているが、全自治会に交付している基礎的支援である自治会振興交付金は制度創設以来、一度も見直されていないと思う。自治会振興交付金の増額等、実情に合った制度の抜本的な見直しを行う考えはないか伺う				
3	行政手続きのデジタル化や押印事務の見直しについて		① コロナ後の新たな社会を見据え、菅政権が進めている目玉政策の一つであり、市議会としてもかねてから検討を進めてきて議会 I C T 化が実現の見通しとなったが、これに対する市当局側の対応とその他の事務事業のデジタル化や押印事務廃止の取り組みについて伺う。				
4	コロナ禍における地域経済の状況と追加経済対策について		① 本市では、いち早く地域経済対策を実施し一定の成果を収めてきたが、今、第 3 波といわれる感染拡大が進み、先般、11 都府県に緊急事態宣言が発出されたところである。 本市は宣言地域外とはいえ、全国的に再び外出、飲食の自粛ムードが高まり、特に本市では国体やインカレも中止となり、地域宿泊、飲食関連事業者への影響は大変大きいものと懸念される。市としての大会中止に伴う関連宿泊業者・飲食関連業者への対応や、鹿角市独自の追加経済対策の必要性も出てきているように思うが、今後の対策をどのように考えているか伺う。				
5	新型コロナウイルスワクチンの接種体制等について		① コロナ収束の重要なカギを握るのがワクチン接種だが、政府は、2 月下旬には接種を開始する方針で、鹿角市でも関係補正予算を定例会初日に議決したところである。接種には多くの市民が集中することが予想され、マイナス 70 度以下の超低温保管庫などが必要と聞くが、接種体制や接種場所はどのようなになるのか伺う。				

令和 3 年第 1 回鹿角市議会定例会代表質問

No.1

順位	3	会派・政党名	清風会	代表質問者	舘花 一仁	質問所要時間	60 分	No.1
質 問 事 項				質 問 要 旨				
1 鹿角市総合計画について				① 第6次鹿角市総合計画における、施策大綱ごとの成果について伺う。				
				② 第6次鹿角市総合計画の期間中における、市長が最も力を入れたプロジェクトは何か。また、その成果について伺う。				
				③ 第7次鹿角市総合計画の策定に当たり、市長が特に重点を置いている点は何か伺う。				
				④ 計画の達成のために、機構改革を行う予定があるか伺う。				
2 総合計画とSDGsについて				① 市民などのSDGsへの理解を深めるため、専門の部署の設置や各種イベントの開催を行う考えはないか伺う。				
				② 国ではSDGs未来都市の選定や、自治体SDGsモデル事業の選定を行っている。本市の取り組みを内外に示すためにも積極的に進める考えはないか伺う。				
3 未登記道路について				① 本市における未登記道路の実態について伺う。				
4 農業経営の安定化について				① 本市では生産現場ごとの課題にマッチしたスマート農業の導入が求められていると考えるが、県と協調し、技術普及への課題を調査する考えはないか伺う。				
				② 農業用機械や労働力を分散させるため、極早生（ごくわせ）や晩生（おくて）の多収米を推奨することで、農家の経営安定や競争力強化につながると考えるが、導入の検討について市長の考えを伺う。				

令和 3 年 第 1 回 鹿 角 市 議 会 定 例 会 代 表 質 問

No.2

順位	3	会派・政党名	清風会	代表質問者	舘花 一仁	質問所要時間	60 分	No.2
質 問 事 項				質 問 要 旨				
5	子育て・少子化対策について			① 第7次鹿角市総合計画では、子育て支援の充実により、少子化対策を進めることとしているが、幼児保育・教育の「質の向上」と「受け皿整備」を中長期的にどのように進めるのか伺う。				
6	児童虐待について			① 本市における児童虐待の現状と、今後の取り組みについて伺う。 ② 本市における不登校生徒・児童に関して、一人一人に寄り添い、誰一人として取り残さない取り組みを期待するが、教育委員会としての見解を伺う。また、いじめについても同様に伺う。				
7	防災・減災について			① 第7次総合計画でも触れられているが、防災教育を再度行うことや、住民の防災意識の向上、自主防災組織や地区防災計画策定の推進などが必要と考えるが、市の見解を伺う。				

令和 3 年第 1 回鹿角市議会定例会代表質問

No.1

順位	4	会派・政党名	立憲民主党	代表質問者	吉村 アイ	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨				
1	新型コロナウイルス対策について		① 新型コロナウイルス感染から 1 年、ワクチン接種に半年以上もかかることから収束の目途も立たない状況をどのように乗り越えるか、項目別に伺う。 (ア) 観光について 比較的感染者の少ない北東北 3 県で連携して、バーチャル観光の推進を強化し、感染予防対策をしながら 3 県の観光振興に取り組むことができないか伺う。 (イ) 農業について 古くて新しい取り組みである、地産地消の取り組みの強化を図ることができないか伺う。				
	(2) 県内就職希望率について		① 秋田県労働局の 2 月 1 日の発表によると、昨年 12 月末時点の県内就職希望率は前年同期より 4.4 ポイント増の 75.3%となり、県内志向が高まっている。このことをチャンスと捉え、ハローワークと連携して若者の定着を図れないか伺う。				
2	教育 I C T について						
	(1) 学校教育情報化推進計画について		① 今年度中に計画を改訂するとしており、教員オンラインでの基礎研修、さらにグーグル社員の派遣による対面研修を行うとしているが、教員全員が対象となるのか。また、世界の先進地より 10 年以上遅れている日本で、新型コロナウイルスの感染の中、急スピードで I C T 化を進めることにより教師への負担が大きくなることに対しての対策を伺う。				
	(2) I C T 支援員について		① I C T 支援員の配置を検討するに当たり、スタート当初は各学校に 1 名以上必要と思うが、人材を確保できるか伺う。				
	(3) 教育委員会での専任者について		① 今後教育 I C T は日進月歩で進化していくと考えられる。そのためには専任者の配置は必要だと思う。広域連携して配置する方法をとれないか伺う。				

令和 3 年第 1 回 鹿角市議会定例会代表質問

No.2

順位	4	会派・政党名	立憲民主党	代表質問者	吉村 アイ	質問所要時間	60 分
質 問 事 項			質 問 要 旨				
(4) G I G A スクール構想と学校教育の情報化の推進に関する法律について			① コロナ禍において、オンラインでできる教育とできない教育との間で、学校教育はそのあり方について大きな課題を突き付けられている。現実を見据え、またコロナ収束後も視野に入れて、未来の教育について伺う。				
3 大湯環状列石の世界遺産登録について			① 世界遺産登録後の、大湯ストーンサークル館内での新型コロナウイルス感染症対策についての計画を伺う。				
4 男女共同参画計画について			② 現在、ボランティアガイド育成に取り組んでいるとのことだが、世界遺産登録後、今の体制で十分な対応ができるのか伺う。				
(1) 第 3 次鹿角市男女共同参画計画の評価と第 4 次鹿角市男女共同参画計画の取り組みについて			① 市の委員会・審議会等における女性委員登用率の目標値 30% を第 4 次計画では「50 : 50」の精神から 50% にすることにできないか伺う。				
			② 地域防災会議における女性の委員登用率はどれくらいか伺う。				
			③ 政策・方針決定過程への女性の参画が十分進んでいないことに対し、第 4 次計画での具体的な取り組みについて伺う。				
			④ 令和 2 年 12 月 25 日、国による「第 5 次男女共同参画基本計画」が確定・スタートした。第 1 次計画から 20 年が経過したが、グローバルジェンダーギャップ指数が 153 か国中 121 位で過去最低である。鹿角市では約 20 年前に女性リーダー講習会を計画し、多くの女性リーダーを育成した。第 4 次計画において、新たな女性リーダーを育成する具体的な取組計画を伺う。				